

鏡川流域パートナーシップだより No.237 R7.8.27



鏡川流域
パートナーシップ
KAGAMIKAWA LOCAL AREA PARTNERSHIP

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

ぼっちりユーザー「furufuru」さん主催！ゆるっと、鏡川サマータイムな休日(前編)

高知県安芸市在住の「ぼっちり」ユーザー「furufuru」さんは、幼い頃から鏡川流域の自然環境に触れて育ち、現在はまちのコイン「ぼっちり」を通じて、鏡川流域のお出かけ情報や見つけた動植物などを紹介してくださっています♪

そんな「furufuru」さんの「鏡川上流域でこれをしてみたい！」という思いをもとに、【ゆるっと、鏡川サマータイムな休日】と題して、8月24日(日)にツアーを開催しました！総勢19名で上流域の大自然を満喫！楽しい夏の思い出ができました♪



☞「furufuru」さんが「ぼっちり」で立ち上げたプロジェクトや今回のイベントに対して、ユーザーの皆さんから多くの応援の声が届いています♪

☞「菖蒲洞に降りていくと、空気の流れを感じました。水と空気が渦を巻くような感じ。どうぞ良い時間になりますように」

☞「本当に楽しそうなツアーですね！なにより、ぼっちりユーザーさんと一緒にいいなあ…」



☞集合場所は、「furufuru」さんのオススメスポット「菖蒲洞」。洞窟に入る前からすでに冷たい空気が流れ、神秘的な雰囲気でした！



☞普段は鍵が閉まっており、中に入ることができませんが、事前に地域の方々に許可を得て、洞窟内の入口付近を特別に見学させていただきました！幼い頃から何度も菖蒲洞を訪れている「furufuru」さんですが、洞窟内に入るのは今回が初めて。「菖蒲洞の中に入ってみたい！」という長年の夢を叶えた喜びを参加者のみなさんと共有していました♪

☞洞窟内は、参加者から「寒い！」「風邪引くかと思うた！」という声が聞こえるほどひんやりした空間でした！鏡川の水が静かに流れる様子や岩場から滴り落ちる水滴などを眺めながら、自然の神秘をじっくりと味わいます。



☞水に足を浸したり、生きものを捕まえたりと、豊かな自然の中で思い思いに楽しみました！水辺の岩を動かすと、サワガニがたくさん出てきて大人子どもも大はしゃぎ♪「こっちにもカニがある！」「そっち行った！」と、夢中でカニを追いかけました！

☞スマホアプリ「Biome」の「鏡川流域いきもの図鑑をつくらう2025」に、カラスアゲハやヤマカワトンボなどを登録しました♪



★菖蒲洞を満喫したあとは、土佐山の中心部に移動してお昼ごはん♪その様子は次回、ご紹介します！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！



※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android